事例紹介

平成25年度 エコドライブ活動コンクール最優秀賞

コイト運輸の取り組み

コイト運輸株式会社（静岡県）は、アイドリングストップの完全実施や、デジタルタコグラフを活用したエコドライブの徹底による燃費向上に取り組んできた功績がたたえられ、交通エコロジー・モビリティ財団主催、全日本トラック協会などで構成するエコドライブ普及推進協議会が後援する、平成25年度エコドライブ活動コンクールで「最優秀賞」を受賞した。「広報とらっく」本号では、同社のエコドライブへの取り組み事例を紹介する。

佐野伊三夫
代表取締役社長

酒井謙好業務部長

コイト運輸㈱（本社・静岡県静岡市清水区、佐野伊三夫代表取締役社長）は、11トンウイング車47台を保有し、小糸製作所で製造された自動車用ランプを国内14の自動車メーカー全てに納入している。輸送範囲は群馬県から福岡県にかけて広範囲に及ぶ。

燃費管理表により、エコドライブを意識付け

同社のエコドライブの取り組みの下地となるのは約40年前から続けている、ドライバーが1運行終了時に燃費を計算（走行距離÷軽油使用量）し、燃費管理表へ手書き記入することだ。社長がこの手書きデータを基に、毎月「乗務員別燃費効率分布表」を、車両別、個人別、班別に集計し、社内で公表している。

同社は車両を近距離便と遠距離便に区別しているが、ドライバーは日々乗務する車両が異なるため、燃料を満タンにして次のドライバーに引き継いでいる。給油時のノズルの入れ方によって燃料量の差が出ないよう、正確さを期すため、自動停止したら終了するよう統一している。同じ車両でも、ドライバーの運転方法によって燃費の違いが一目瞭然だ。

同社がさらに本格的に燃費改善活動をスタートさせたのは平成13年から。同社での燃費が悪化し、燃料コストが増加したためだ。まずは、燃費効率4・65キロメートル／リットルへの挑戦のため、ビデオなどを活用し、ドライバー教育を充実させた。また、ドライバーの燃費ランキングを公表し、エコドライブの意識を高めた。

「燃費管理表を活用して燃費目標を設定し、燃費ランキング表を作成しました。日報を作成する一環なので、ドライバーは抵抗はありませんでした。むしろ燃費目標を達成すると、より高い目標に向けて挑戦するようになりました」（酒井業務部長）

グリーン経営、Gマーク認証取得

次の取り組みとして、同社は16年2月に交通エコロジー・モビリティ財団の「グリーン経営認証」を取得した。静岡県のトラック運送事業者では第1期にあたる。また、17年1月にはGマークを認証取得し、環境や安全への取り組みをさらに推進した。

省エネ運転マニュアルを配布

アイドリングストップを励行し、ドライバーには省エネ運転マニュアルを配布した。マニュアルは、場面ごとに細かく実施事項を策定している。「高速道路ではオートクルーズで80キロメートル定速走行、一般道路では法定速度を厳守し、エンジン回転数1000rpm以下の経済速度で走行することなど、細かく記載されている。

点検整備基準も変更し、従来は12万キロメートルごとに交換していたエアフィルタ、エンジンオイル、オイルフィルタを、6万キロメートルごとに同時交換することとした。

省燃費タイヤ導入、車両の軽量化の徹底

タイヤの空気圧を適正にするため、毎月1回ドライバー自身が測定し、数値を空気圧管理表に記入しており、同社では9・0キログラムフォース／平方センチ（900キロパスカル）に設定している。

また、16年度に省燃費タイヤに切り替えたことにより、燃費が3％アップし、会社全体で年間約197万円のコスト削減に繋げることができた。

さらに、近距離を走るトラックの燃料タンクの取り外し、ケーブルチェーンの導入、軽量導風板の導入など、段階的な車両の軽量化も進めたことで、燃費が一層向上した。

低床車の導入で積載効率向上

製品形状の大型化に伴う通い箱の多様化などに対応し、19年度から低床車を導入し、車高を10センチメートル下げて荷室を拡大するとともに、扁平タイヤを装着し、積載効率を1台平均15％アップさせた。現在は47台中30台が低床車となっている。なお、低床車は、より燃費の良いアルミホイールを装着している。

デジタコの活用で燃費がさらに向上

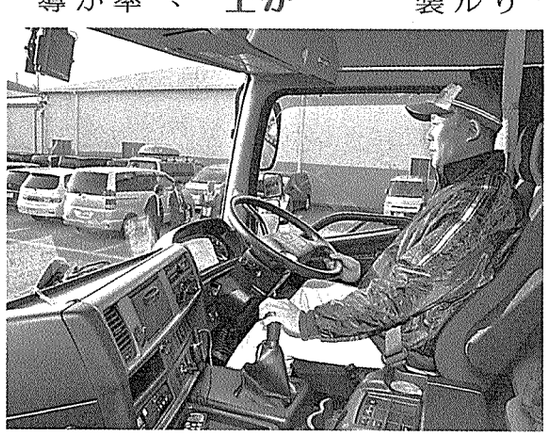
24年5月に、運行管理の効率化を図る観点からデジタコを導入した。

「デジタコを導入した直後から、それまで停滞していた燃費が一気に上昇しました。出力される燃費や評価、急発進回数、急加速回数などがすぐに分かるので、ドライバーの運転力量を高めるツールになります。デジタコは本来の目的であるドライバーの燃費向上と安全運転という、2つの目的がドッキングしたものといえます」（佐野社長）

デジタコ導入後の24年度の平均燃費は5・42キロメートル／リットルとなり、燃費改善活動を始める前の12年度に比べて17・8％アップした。

このように、エコドライブに努めた結果、12年間でタイヤ購入本数は半分以下となり、修理費用も21％削減した。さらに、人身事故ゼロが続いている。

「エコドライブの目的は安全運転です。いくら燃費が良くても、大切な製品を破損させてはなりません。エコドライブは自分自身、家族、会社を守るための手段です。今後も新入社員研修や、個人表彰制度の充実などと併せて燃費改善の方策を探求していきたいと思います」（同社長）


デジタルタコグラフを全車に装着し、エコドライブを徹底。ドライブレコーダも装着

コイト運輸 エコドライブのポイント

1 省エネ運転の徹底
アイドリングストップ、経済速度で走行、急発進・急加速、急ブレーキをしない、早めのシフトアップ

2 燃費管理表を作成
自分の燃費を知るとともに、他のドライバーを参考にする

3 デジタルタコグラフの活用
自分の評価を即座に判断できる

4 タイヤ空気圧の測定・補充
毎月1回測定し、空気圧管理表に記入するとともに、不足空気圧を補充。基準は9.0キログラムフォース／平方センチ（900キロパスカル）

5 点検整備の徹底
6万キロメートルごとにエアフィルタ、エンジンオイル、オイルフィルタを交換

会社概要

コイト運輸株式会社
（佐野伊三夫代表取締役社長）

本　社	静岡県静岡市清水区吉川873
創　立	昭和45年12月
資本金	4,000万円
保有車両	47台
従業員数	61人（ドライバー56人）